



永 久 保 存

存
年

年 號

1.01
9
岐阜県立図書館

符 號

1326
2162

號

番 號

第

七

號

記 事

卯 日 記

延享四年

岐阜縣知事官房

冊 号
第 七 二 号

延享四
卯
日記

庚七番

御樽木方



正月元日 晴天

一年始記元

日二日

一子心所紀元

草書 晴天

招國皇帝
吳水度助
此本元氣

館備付
1326
35.12.12
陝西圖書館

保管轉換

正月之日

晴天
有音

東井言尾
田邊洋房
山崎程幸
林保堂

日甲

晴天

有音

山内山房
山内山房
山内山房
山内山房
山内山房

宮内山房沖林山房山房山房山房山房
山房山房山房山房山房山房

一 桂月山房山房山房山房山房

山内山房

山房山房山房山房山房

山房山房

山房山房山房山房山房

山房山房

山房山房山房山房山房

山房山房

山房

山房山房山房山房山房

山房山房

山房山房山房山房山房

山房山房

山房山房山房山房山房

山房山房

海軍

石

九方山子

九方山子

山子

山子

山子

山子

山子

山子

山子

山子

山子

山子

山子

山子

山子

山子

山子

山子

山子

山子

山子

山子

山子

山子

山子

山子

山子

山子

山子

山子

山子

山子

何事を為すか 不問

一 指 持 之 方 妙 子 九 者 存 疑 疑 山 中 也 也

由 此

山 中 之 妙 子

此 是 入 字 也 方 門 揚 子

山 中 之 妙 子

此 是 及 字 也 方 門 揚 子

山 中 之 妙 子

此 是 人 字 也 方 門 揚 子

山 中 之 妙 子

此 是 天 字 也 方 門 揚 子

山 中 之 妙 子 九 者 存 疑 疑

何 事 為 之 不 問

何 事 為 之 不 問 何 事 為 之 不 問 何 事 為 之 不 問

何 事 為 之 不 問

何 事 為 之 不 問

何 事 為 之 不 問

何 事 為 之 不 問

何 事 為 之 不 問

正月六日

晴天
有音

集辛卯
田里
市村
庄村
德公

日七
變

一七
極
馬
記
中
午

音

山
中
在
馬
似
可
是
也
按
回
在
本
而
先
出
者
也

日八
而
夫

音

安
江
廣
為
沈
本
江
氣
山
停
燈
年
林
似
也

正月九日

晴
爽

真無念

田遊

書

方

十日

晴
爽

高
數

山

留

古

古

日十日

一

高
書

高

市

市

市

山

正月十二日

是日

車馬辛勞
田園稼穡
孫子及孫
若也及也

二月十一日

是日

山月山月
山村山月
山月山月
林仙山月

二月十日

是日

山月山月
山村山月
山月山月
林仙山月

二月九日

是日

山月山月
山村山月
山月山月
林仙山月

右之云當年此之成也... 并座... 伊川下... 乃村... 長...

延享四年卯二月

伊波所

伊波所

如左

伊波所

去後八

去後八

伊波所

正月十九日

日吉 吉

日吉

吉

一 伊波中... 白... 伊波... 延...

伊波所

一 伊波... 山... 龍...

伊波所... 龍...

同去之方 晴天 二會友

同去之方 晴天

同去之方 晴天

同去之方 晴天

同去之方 晴天

同去之方 晴天

一 去當年之疾... 波場... 川下... 晴天

同去之方 晴天

○ 美... 晴天

○ 波... 晴天

○ 中... 晴天

五

二月十七日 晴

一 抄取地出程由南中... 晴

回廿八日 晴

回廿九日 晴

二月廿日 晴

回二日 晴

回三日 晴

回四日 晴

一 抄取... 晴

廿一日 晴

二月廿日 晴

一 河内台在江少宿村德信東方身之德信其以
平藏河村吉野村等處相以於野中自以爲人

同七日 晴

同八日 晴

同九日 晴

一 稿稿天初平江少宿村德信東方身之德信其以

11

同十日 晴

同十一日 晴

同十二日 晴

同十三日 晴

一 苗乃年極身自也秋七週之秋村人出

同十四日 晴

一尚知年之成也... 且其... 正屬...

了了... 少...

少... 回...

方...

此...

一... 而... 度... 外...

二月... 日...

日... 晴...

一 富平山... 門下川... 海... 文
海... 山... 門下川... 海... 文

田... 山... 文

一 富平山... 門下川... 海... 文
海... 山... 門下川... 海... 文

富平山... 門下川... 海... 文

富平山... 門下川... 海... 文

富平山... 門下川... 海... 文

富平山... 門下川... 海... 文

田... 山... 文

水鏡之千御經

卯丁一七九 以修書 少御經

少御經 同具經

一 少御經之書寫子之修成修本出之文以修書
以九之七之

修成修本
修成修本

二月廿方 晴天

同廿方 雨天

同廿方 晴天

同廿方 雨天

一 當年之修成修本出修成修本之修成修本
一 古河内郡 修成修本之修成修本

田之修成修本
定之修成修本

一山言卯日之成者... 卯日

日古切。 卯天

日古古。 卯天 卯天

日古古。 卯天

日古古。 卯天

日古古。 卯天

一... 卯天

卯天

卯天

卯天

卯天

一 南音記の成りゆきと其の格とを詳説す
其の成りゆき

山音記の成りゆきと其の格とを詳説す
其の成りゆき
一 南音記の成りゆきと其の格とを詳説す
其の成りゆき
一 南音記の成りゆきと其の格とを詳説す
其の成りゆき

一 南音記の成りゆきと其の格とを詳説す
其の成りゆき

一 南音記の成りゆきと其の格とを詳説す
其の成りゆき

一 南音記の成りゆきと其の格とを詳説す
其の成りゆき

一 南音記の成りゆきと其の格とを詳説す
其の成りゆき

二月九日 晴 天 三三番出候

一 舟中 三三番出候 舟中 舟中 舟中
舟中 舟中 舟中 舟中 舟中
舟中 舟中 舟中 舟中 舟中

迄

一 舟中 舟中 舟中 舟中 舟中

四

舟中 舟中 舟中 舟中 舟中

長 行 舟中 舟中 舟中

舟中 舟中 舟中 舟中 舟中

長 舟中 舟中 舟中 舟中

一

舟中 舟中 舟中 舟中 舟中
舟中 舟中 舟中 舟中 舟中
舟中 舟中 舟中 舟中 舟中
舟中 舟中 舟中 舟中 舟中
舟中 舟中 舟中 舟中 舟中

日知錄
國朝文苑
卷之五
詩話
卷之五
詩話
卷之五
詩話

一
山陰

一
山陰
山陰
山陰
山陰

一
山陰
山陰
山陰
山陰

一
山陰
山陰
山陰
山陰

一
山陰
山陰
山陰
山陰

一
山陰
山陰
山陰
山陰

一
山陰
山陰
山陰
山陰

一 南音以中麻生後出後之...

古也...

一 南音以中麻生後出後之...

一 南音以中麻生後出後之...

一 南音以中麻生後出後之...

一 南音以中麻生後出後之...

一 南音以中麻生後出後之...

南音...

十 字 卯 酉 辰

一 南音以中麻生後出後之...

一 南音以中麻生後出後之...

南音...

一 南音以中麻生後出後之...

一 南音以中麻生後出後之...

一 南音以中麻生後出後之...

一 南音以中麻生後出後之...

二月十日 晴

田舎

晴

一 山崎の山崎村に別荘あり

一 山崎の山崎村に別荘あり

田舎

晴

田舎

晴

一 山崎の山崎村に別荘あり

一 山崎の山崎村に別荘あり

田舎

晴

一 山崎の山崎村に別荘あり

一 山崎の山崎村に別荘あり

田舎

晴

乙月十九日 晴天

一 旦如様少板方家子持建存元云云云云
一 云富平元候より入持子柳酒方清用
明九りの云々

口方

晴天

高田屋

一 去信ん方云々云々
一 去信ん方云々云々
一 去信ん方云々云々

一 去信ん方云々云々

田中屋

一 旦如様少板方家子持建存元云云云云

口方

口方

一 去信ん方云々云々
一 去信ん方云々云々
一 去信ん方云々云々

田中屋

二月廿七日 雨文

一 山乃白川山内中屋等下以自山内中屋
新地所出石炭高即年本并賣賣也
ト云々

一 本并賣賣古口恒等下以所出石炭
初運了ト云々

リ先ノ 晴天

一 山乃白川山内中屋等下以自山内中屋

又産石炭代取石炭分ニ積有レ石炭
山内中屋内以石炭分ニ積有レ石炭分
山内中屋内以石炭分ニ積有レ石炭分

一 山乃白川山内中屋等下以自山内中屋
山内中屋内以石炭分ニ積有レ石炭分
山内中屋内以石炭分ニ積有レ石炭分
山内中屋内以石炭分ニ積有レ石炭分

日九九ノ 晴天

一 山乃白川山内中屋等下以自山内中屋
山内中屋内以石炭分ニ積有レ石炭分
山内中屋内以石炭分ニ積有レ石炭分

日月音 性情

一 聿其音古而雅帶个雅心方之似集
其音之足其音之雅勿涉九氣方以平
山後其音之足其音之雅勿涉九氣方以平
右其音之足其音之雅勿涉九氣方以平
折其音之足其音之雅勿涉九氣方以平

吉村
山田

日月音 笑

一 折其音之足其音之雅勿涉九氣方以平
一 折其音之足其音之雅勿涉九氣方以平

有之其音之足其音之雅勿涉九氣方以平
有之其音之足其音之雅勿涉九氣方以平
有之其音之足其音之雅勿涉九氣方以平
有之其音之足其音之雅勿涉九氣方以平

此道必以之工也
抄本云其法也

方寸一也
以式法

所

日

方寸
方寸

一 是法也方物也

一 是法也方物也
以行

日七

日八

一 是法也方物也

日九

口十口 あり

一 徳河之内を字子元代及橋樑足并嘉元
内夜位柄信徳高柳安其人多
ありと云り人ありと云り

玉井寺
あり

リケケ 徳天

一 松屋字子七様下

徳
寺

左 松屋字子内村方より人の見ゆ
物あり

一 松屋字子七様下

徳
寺

一 口松屋字子

徳
寺

右 松屋字子内村方より人の見ゆ
物あり

徳
寺

甲子年 晴文

一 為多事之初年切當而年小方為之文抄友
以錄之乎方利之修好又之也

一 並成而為諸漢中修好之山而或成於也
則之修好也

甲子年 晴文

一 山山修好之書方利之修好之修好也

山山修好之書方利之修好之修好也
山山修好之書方利之修好之修好也
山山修好之書方利之修好之修好也
山山修好之書方利之修好之修好也
山山修好之書方利之修好之修好也
山山修好之書方利之修好之修好也
山山修好之書方利之修好之修好也
山山修好之書方利之修好之修好也
山山修好之書方利之修好之修好也
山山修好之書方利之修好之修好也

山山修好之書方利之修好之修好也
山山修好之書方利之修好之修好也
山山修好之書方利之修好之修好也
山山修好之書方利之修好之修好也
山山修好之書方利之修好之修好也
山山修好之書方利之修好之修好也
山山修好之書方利之修好之修好也
山山修好之書方利之修好之修好也
山山修好之書方利之修好之修好也
山山修好之書方利之修好之修好也

考し其の詳しきものにして其の
事蹟も亦存ししものにして其の
入道も亦ありしものにして其の
後世の事にして

一 梅舟の事なるものにして其の
事蹟も亦存ししものにして其の
入道も亦ありしものにして其の
後世の事にして

一 梅舟の事なるものにして其の
事蹟も亦存ししものにして其の
入道も亦ありしものにして其の
後世の事にして

一 梅舟の事なるものにして其の
事蹟も亦存ししものにして其の
入道も亦ありしものにして其の
後世の事にして

日本の方 物文

日本の方 西文

日本の方 西文 書中 中珠

一 梅舟の事なるものにして其の
事蹟も亦存ししものにして其の
入道も亦ありしものにして其の
後世の事にして

一 梅舟の事なるものにして其の
事蹟も亦存ししものにして其の
入道も亦ありしものにして其の
後世の事にして

一 移自... 道... 下... 世... 乃... 乃...
 一 此... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...
 一 少... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...
 一 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

日未... 晴... 七... 七...

日... 日...

一 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...
 一 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

一 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

古有子之成...
 河...
 乃...
 乃...
 乃...
 乃...
 乃...

又...
 乃...
 乃...

乃...
 乃...

乃...
 乃...

乃...

乃...
 乃...

乃...
 乃...

少少 少少 少少 少少

中書 少少 少少 少少

口口口口 口口

南門外... 漢之... 漢之... 漢之...

口口口口 口口

一... 漢之... 漢之... 漢之... 漢之... 漢之... 漢之... 漢之... 漢之... 漢之...

此後諸君列位所到無不心悅誠服
幸蒙諸君之政令而後無不心悅誠服
以故也

東

印

印
八

印

印

云云
七
二
故

印
印

印
一色

印
一色

字亦分 晴天

日在九日 晴天

一 卯子 卯子 卯子 卯子 卯子 卯子 卯子

卯子

日 卯子 卯子

子月朔日 卯子

日 卯子 卯子

日 卯子 卯子

日 卯子 卯子

日 卯子 卯子

一 卯子 卯子 卯子 卯子 卯子 卯子 卯子

ありしを 思ふ

一 年ありて後知りて心方おぼほたり候に
る候中も
るに色もあらず

乃思書身と心とを
おぼ

巻下

一 思ひの自れ下り

長次郎

六日

船下

一 思ひの自れ下り

長次郎

申す人
五日

一日 志下

長次郎

七日

右 志下 申す人 申す人 申す人 申す人
山内下入 申す人 申す人 申す人 申す人
志下 申す人 申す人 申す人 申す人
山内下入 申す人 申す人 申す人 申す人
志下 申す人 申す人 申す人 申す人

申す人

申す人

申す人

申す人
申す人

十月廿五日 西天

一 向卯巳山行寺山我軍之我山和
南水之何陽古山石山 山直山岩
山山山山山山山山

一 令子山山山

南水之何陽古山

山

尔之山山山

知子下山山信

尔七方山山山

山山山山

山山山山山

山山山山山山

山山山山山山

山山山山

山山

十月廿五日

西天

一 本多中右衛門左衛門 而中郎子之儀 甚矣哉

あはれと云ふ

あふ

あはれと云ふ

あふ

あはれと云ふ

あふ

一 文成場をわたりてあふりて文成の地を
之の方、是を之の方、中分りてあふり

ナリキ 中分

一 文成場の文成の地をわたりてあふりて

神の力をあはれと云ふの御供養に
あはれと云ふの御供養に
あはれと云ふの御供養に
あはれと云ふの御供養に

一 本多中右衛門左衛門 而中郎子之儀 甚矣哉

三月十日 晴久 中郎

一 本多中右衛門左衛門 而中郎子之儀 甚矣哉

山田山房の友人がね物山に遊んで

一 御申儀も唐語里をいふを及之と云

言ひしは御申儀に似たりといふは御申儀

可なり 遊天か書

一 此は御申儀に似たりといふは御申儀に
ら向の上をいふは御申儀に似たりといふは御申儀
に似たりといふは御申儀に似たりといふは御申儀

老人

御申儀に用ひたる御申儀に似たりといふは御申儀

山田山房の友人がね物山に遊んで

子に似たりといふは御申儀に似たりといふは御申儀

に似たりといふは御申儀に似たりといふは御申儀

字式に似たりといふは御申儀に似たりといふは御申儀

振子に似たりといふは御申儀に似たりといふは御申儀

の如しに似たりといふは御申儀に似たりといふは御申儀

多中り
雨上列
沙田
向

六辰

大村
年

六月五日
晴天

一 南方面下麻痺痛お仕遊り。此

方
49

口
晴天

一 伊予中牛橋自方水休り
方

一 抄製地遊る方
方

抄製地遊る方
方

一 文多しを河内少夜
高橋用と高り高
竹に至り

林尾高
小川松高

一 高橋用と高り高
高橋用と高り高
高橋用と高り高

高橋用と高り高
高橋用と高り高

一 高橋用と高り高
高橋用と高り高

高橋用と高り高
高橋用と高り高

山崎の松園之義之身急所園を以て
此松を松園の松と云ふ
之を二高りとは見ゆし
入るる松葉のまじはれ松と云
おもしろいと云ふ

か
おもしろ

高橋用と高り高

高橋用と高り高

右は成りてしる

元

一人後世に就し用格の角望に達し
花列の門有是の思の上書上りたる
急用用の方之物事いふ急事因縁
此の石の如く牛の格別大印の法用
後人其の如く保方打し得る事

右は成りてしる
急用用の方之物事いふ急事因縁
此の石の如く牛の格別大印の法用
後人其の如く保方打し得る事
急用用の方之物事いふ急事因縁
此の石の如く牛の格別大印の法用
後人其の如く保方打し得る事

包紙之字力別也

方大月

後方崇

打

行
方
万

石心字其法也修字全今物多

一 又其法也修字全今物多

上之字其法也修字全今物多

之字其法也修字全今物多

中

一 亦其法也修字全今物多

之字其法也修字全今物多

日十

時天

一 亦其法也修字全今物多

修字其法也修字全今物多

原村字義
山崎行平
方村行至

一 小島島真打舞地流舞昇河多希之内
橋用比中結のり子佛

指國平希
於此以方

一 南島島保村之版方多取子取
以取之由是橋用流多之取之
川多取之由是取之

六月在之 時天

一 川上希之版希橋用比味水仁也
内本了子佛

市村と方
上國海方

紫竹之葉... 之玉... 本... 西... 御... 正... 抄...

卯...

...

...

...

...

一... 之... 抄...

林...

小川...

二月廿六日 晴
雷

一 小書之真抄 龍年之有百餘年
抄用此法換門 且多如 龍年

日廿六日 晴

一 卷書之真抄 龍年之有百餘年
抄用此法換門 且多如 龍年

日廿七日 雨

一 卷書之真抄 龍年之有百餘年
抄用此法換門 且多如 龍年

抄用此法換門 且多如 龍年
抄用此法換門 且多如 龍年

日廿七日 雨

日廿七日 雨

一 梅角之代は種也 梅角 并 向 亦 向 亦 向 亦 向

梅角之代は種也 梅角 并 向 亦 向 亦 向 亦 向

梅角之代は種也

梅角之代は種也 梅角 并 向 亦 向 亦 向 亦 向

梅角之代は種也 梅角 并 向 亦 向 亦 向 亦 向

梅角之代は種也 梅角 并 向 亦 向 亦 向 亦 向

梅角之代は種也 梅角 并 向 亦 向 亦 向 亦 向

梅角之代は種也 梅角 并 向 亦 向 亦 向 亦 向

梅角之代は種也 梅角 并 向 亦 向 亦 向 亦 向

梅角之代は種也 梅角 并 向 亦 向 亦 向 亦 向

梅角之代は種也 梅角 并 向 亦 向 亦 向 亦 向

五月廿九 雨 天

日廿九 雨 天 梅角

日廿九 雨 天

六月廿九 雨 天

日二十 雨 天 梅角

六月廿 雨天

日三 雨天

日四 雨天 後晴

日六 晴天 雷雨

一 若雨之云台海只中五系似卯子我
角由物本本倫也卯子後信

五廿三日
辰山子

日七 晴天

一 吳海賊乃高字子影子母將利也
亦續日信子海分天代 播磨高
麻子心少請元

日八 晴天 白雷雨

一
名方人水... 山... 山... 山...
山...

利... 山...

一
山... 山... 山...

山... 山... 山...

一
山... 山... 山... 山... 山...

山... 山... 山...

一
山... 山... 山... 山... 山...

山... 山... 山...

一
山... 山... 山... 山... 山...

二
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

日十
日十
日十

一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一

一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一

一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一

日十
日十
日十

日十
日十
日十

一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一

頼る由は村方許公事ゆ体許
う侍村方たし海也物也

先達より沙の住し橋舟より水は安産
者不尸身ハ定武由候と云候上
了り候は候格付之由に候
少和之由は候格付之由に候
是之由他由候格付之由に候
之由候し内候格付之由に候
二三人の力有之由に候
う由急用之由に候

尤方より反百程外高利に候物
付由候しお由候し村方にお由

布
六
市川場

保村一海
上小宮一海
高丸一海
打龜大首一海
お切中切上切 猪俣中一海



一 和風 新刊河原 竹葉 中加修治
一 由

六月五日 晴

一 卯之辰 辰辰 修治 其乃 其物也 乃乃
其乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃

其乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃

卯之辰 辰辰 晴

一 卯之辰 辰辰 修治 其乃 其物也 乃乃
其乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃

其乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃

一 卯之辰 辰辰 修治 其乃 其物也 乃乃
其乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃

其乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃

卯之辰 辰辰 晴